

そう だん まど ぐち あん ない
相談窓口のご案内

しょうがい り ゆう さ べつ そう だん まど ぐち
障害を理由とする差別についての相談窓口

みせ かいしや しょうがい り ゆう さ べつ かな おも
お店や会社で、障害を理由に差別をされて、つらい、悲しい思いをしたことはありますか？
お話を伺い、解決に向けて一緒に考えます。家族や支援をする人が相談することもできます。

しょうがいふくし ぶしょうがいし さくすいしん か
障害福祉部障害施策推進課 TEL. 03-5432-2424 FAX. 03-5432-3021

げつ きんようび ごぜん じ ふん ごご じ しゅ(じつ) ねんまつねん し のぞ
※月～金曜日 午前8時30分～午後5時(祝日・年末年始除く)

しょうがい しゃ ぎやく たい かん そう だん まど ぐち
障害者への虐待に関する相談窓口

つらい、やめてほしいとおも ことをされていませんか？
それは差別ではなく虐待かもしれません。相談してください。

せ た がや そうごう し しょ ほ けんふく し か 世田谷総合支所 保健福祉課	TEL. 03-5432-2865	FAX. 03-5432-3049
きた ざわ そうごう し しょ ほ けんふく し か 北沢総合支所 保健福祉課	TEL. 03-6804-8727	FAX. 03-6804-8813
たま がわ そうごう し しょ ほ けんふく し か 玉川総合支所 保健福祉課	TEL. 03-3702-2092	FAX. 03-5707-2661
きた そうごう し しょ ほ けんふく し か 砧総合支所 保健福祉課	TEL. 03-3482-8198	FAX. 03-3482-1796
からす やま そうごう し しょ ほ けんふく し か 烏山総合支所 保健福祉課	TEL. 03-3326-6115	FAX. 03-3326-6154

げつ きんようび ごぜん じ ふん ごご じ しゅ(じつ) ねんまつねん し のぞ
※月～金曜日 午前8時30分～午後5時(祝日・年末年始除く)

せ た がやく しょうがいしゃ や かん きゅうじつぎやくたいつう ほう
世田谷区障害者夜間・休日虐待通報ダイヤル TEL. 03-5432-1033 FAX. 03-3410-0368

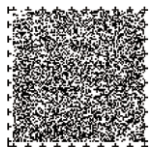
ど にちよう しゅ(じつ) ねんまつねん し しゅうじつうつけ およ やかん ごご じ よくあさ ごぜん じ ふん
※土・日曜、祝日、年末年始(終日受付)、及び夜間(午後 5時～翌朝午前8時30分)

こま そう だん まど ぐち
困りごとの相談窓口

ぽーとせたがや	TEL. 03-6804-0405	FAX. 03-6383-2156
ぽーときたざわ	TEL. 03-6379-0262	FAX. 03-3325-9519
ぽーとたまがわ	TEL. 03-6411-6590	FAX. 03-5707-2828
ぽーときぬた	TEL. 03-6411-5680	FAX. 03-6411-4150
ぽーとからすやま	TEL. 03-5357-8760	FAX. 03-5357-8761

げつ どうようび ごぜん じ ふん ごご じ しゅ(じつ) ねんまつねん し のぞ
※月～土曜日 午前8時30分～午後5時(祝日・年末年始除く)

れい わ ねん がつ はつこう
令和3年9月 発行
編集・発行 世田谷区役所 障害福祉部 障害施策推進課 計画担当
〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4-21-27
【電話】03-5432-2958 【FAX】03-5432-3021
広報印刷物登録番号 No.2009
協力 Setagaya アミーゴ (世田谷区手をつなぐ親の会)



せたがや
ホームページ
プラン

〈わかりやすい版〉

おんせい
音声
コード

め の 不自由な方などへの情報提供に役立てられているおん
声コードを採用しています。右のコードを専用の読み取り
機が音声に変換し、内容を読み上げます。

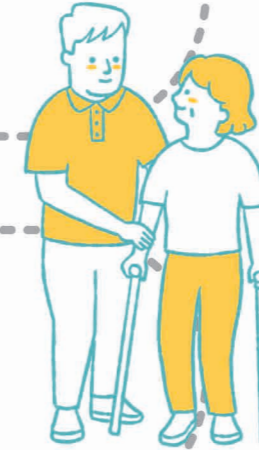
世田谷区が めざすこと

世田谷区では、「障害のあるひとも
ないひともお互いの人格や個性を
大切に、住み慣れた地域で支え
あい、自分らしい生活を安心して続
けていける社会の実現」のために、
10の目標を立てています。

1 差別をなくし、安心して暮らすために
一人一人が協力する



2 支えが必要な人も、
元気に暮らせる



3 暮らしやすい住まい、利用しやすい
交通機関になるように整備する

4 みんなが安心して
働けるようにする

5 いつでも相談ができ、
困ったときにはみんなで協力する



6 病院から退院しても、
地域で安心して
暮らせるようにする

7 医療が必要な子どもや
家族が安心して生活できる

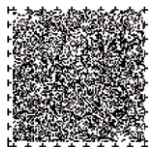


8 学校や保育園に通いやすくしたり、
スポーツや趣味が楽しめるようにする

9 福祉の仕事をする人を
増やしたり、障害のことをもっと
わかってもらえるようにする



10 計画したことを
どう進めていくのか、
目標を立てる

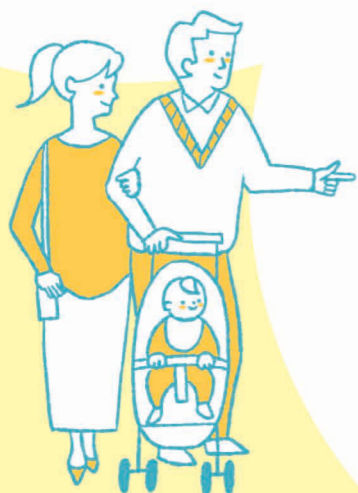


しょうがい ひと けん こう く
障害のある人が健康に暮
らしていくために、どんな
ことをしていますか

たと は いしや かよ むず
例えば歯医者さんに通うのが難し
い子どもでも、治療が受けられるよ
うにサポートしたり、障害のある人
にも利用しやすい健康講座や運動
プログラムを実施します。

しょうがい ひと せ た が や く
障害のある人が世田谷区で
安心して暮らせるように
どんなことをしていますか

ひとり さび き も
一人で寂しい気持ちにならないように
ささ ち いき ひと かつどう
支えてくれる、地域の人たちの活動を
し えん しょうがい ひと しょうがい
支援したり、障害のない人にも障害の
ことを知ってもらうようにします。



しょうがい ひと いえ
障害のある人の家や
生活がよくなるように
どんなことをしていますか

しょうがい おも ひと せ た が や く あんしん く
障害の重い人も世田谷区で安心して暮
らせるようグループホームの整備を進
めたり、障害のある人やその家族が住
む場所に困らないように支援します。



せたがや ノーマライゼーション プランって何？

く と く
区はどんなことに取り組むの？



しょうがい ひと
障害のある人が
はたら
働きやすくするために、
どんなことをしていますか

しごと つ おうえん
仕事に就けるように応援するととも
に、仕事の悩みや相談できる場所を
つく
作っていきます。

しょうがい ひと
障害のある人も
ひと す な ぼ しょ
ない人も住み慣れた場所で
せい かつ
生活するために、
どんなことをしていますか

ひとり なや おな
一人で悩まないように、同じように
しょうがい ひと そうだん の
障害のある人が相談に乗ったり、
さんか い ぼ しょ
参加のしやすい居場所づくりを進
めていきます。



びょう き ひと
こころに病気のある人が
たい いん す な
退院したあと、住み慣れた
ぼ しょ せい かつ
場所で生活していくために
どんなことをしていますか

びょういん たいいん とき ささ
病院から退院した時にすぐに支えられ
るよう、退院前から本人や家族、病院
かんけいしや ち いき し えんしや かお み
関係者や地域の支援者と顔の見える
かんけい つく
関係を作っていきます。



いりよう き き つか
医療機器を使って
せい かつ
生活している
こ しょう せい えん
子どもへの支援は、
どんなことをしていますか



い し かん けい し や どう し
医師をはじめとした関係者同士
きょうりく れんけい ふか おとな
の協力と連携を深め、大人になる
し えん わ つく
までの支援の輪を作るとともに、
こ かぞく ち い き ささ
子どもと家族を地域で支えられ
るように、地域で支えてくれる人
をふ 増やしていきます。

ほ いく えん がつこう
保育園や学校に
かよ
通いやすくするために、
どんなことをしていますか
また、スポーツや文化を
たの ぶん か
楽しめるように

どのようなことをしていますか

こ も ちから だ
子どもが持っている力をたくさん出せ
るように、一人ひとりにあつた教育を
う きょういく
受けられるようにしたり、保育園や
ほ いく えん
がつかう しょうがい こ
学校に障害のある子どもがたくさん通
えるように考えていきます。また、障害
かんが しょうがい
のある人も安全にスポーツ等ができる
ひと あんぜん とう
ように施設を整備していきます。

ふく し
福祉サービスを
よりよくするために、
どんなことをしていますか

さまざま じじょう かだい かか かてい
様々な事情で課題を抱える家庭を
ささ たく たんとうしや きょうりく
支えるために、区の担当で協力し
て、身近な支援者に、専門家として
み ぢか し えん し や せんもん か
支えていける体制を考えていきま
ささ たいせい かんが
す。また、様々な障害のある人を支
えるため、正しい知識を身につける
ただ ち し き み
講座や研修を実施していきます。

けい かく すす
計画を進めるために、
もくひょう た
どんな目標を立てていますか

し せつ にゆうしよ ひと じたく
施設に入所している人が、自宅やグ
ループホームに移れるように支援して、
し せつ にゆうしよ ひと かず へ
施設に入所している人の数を減らした
り、こころの病気で入院していた人が、
びょうき にゆういん ひと
退院後1年以内に地域で生活できる
たいいんご ねん い ない ち い き せい かつ
日数を増やしていくなどの目標を立て
につすう ふ もくひょう た
ています。

